

**地域医療介護総合確保基金（医療分）の R 5 県計画（案）**

**1 国予算の状況**

R 5 年度 1, 0 2 9 億円（前年同額）

**2 県計画案（国に要望する額）**

< 計画の規模（公費負担ベース） >

（単位：百万円）

事業区分	R 2 計画配分額	R 3 計画配分額	R 4 計画			R 4 末基金残見込み	R 5 当初予算	R 5 計画要望額
			要望額	配分額	内示率			
I - 1	580	395	0	0	—	1,268	487	0 ①
I - 2		76	0	0	—	0	182	94 ②
II	61	78	50	50	99.0%	50	148	148 ③
IV	618	614	450	450	99.9%	361	806	806 ④
VI	85	85	40	40	100.0%	129	89	89 ⑤
合計	1,344	1,248	540	539	99.8%	1,807 <sup>A</sup>	1,712 <sup>B</sup>	1,137 <sup>C</sup>

〔考え方〕 R 4 年度末基金残高見込み（A）及び R 5 年度当初予算（B）を踏まえ、事業の継続実施に必要な額（C）を国に要望

**3 事業概要**

**（I）-1 地域医療構想の達成に向けた施設設備の整備に関する事業** 4 8 7 百万円

○圏域での合意に基づく医療機関の施設設備整備 （国への要望額：0百万円）

    病院における病床再編等による施設設備整備の補助

○地域医療構想の達成に資するソフト事業

    医療連携推進コーディネーターの配置、機能分化・連携に向けた検討会開催等への支援

○しまね医療情報ネットワーク（まめネット）

    連携アプリケーション機能強化、医療機関の院内システム導入・改修費補助等

**（I）-2 地域医療構想の達成に向けた病床数又は病床機能の変更に関する事業** 1 8 2 百万円

○地域医療構想の達成に資する医療機関の病床削減や再編統合へ （国への要望額：94百万円）

    給付金を支給

<b>(Ⅱ) 居宅等における医療の推進に関する事業</b>	<b>148百万円</b>
○市町村を通じた、条件不利地域で訪問診療等を行う病院・診療所や訪問看護ステーションの運営費支援	(国への要望額:148百万円)
○「訪問看護支援センター(仮称)」を設置し、看護職員の確保・育成の取組等により地域の訪問看護ステーションを支援	
○訪問診療に必要な車両や医療機器の購入補助	
○特定行為を行う看護師の養成研修受講費支援	
<b>(Ⅳ) 医療従事者の確保に関する事業</b>	<b>806百万円</b>
○医学生奨学金貸与	(国への要望額:806百万円)
○しまね地域医療支援センターの運営支援	
○看護職員のキャリアアップ支援	
○看護師等養成所の運営費支援	
<b>(Ⅵ) 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業</b>	<b>89百万円</b>
○長時間労働の医師がいる2次救急医療機関等の労働時間短縮のための総合的な取組を支援	(国への要望額:89百万円)
	<b>計 1,712百万円</b> (国への要望額:1,137百万円)